

ポリブテンパイプ、保温付きポリブテンパイプの接続手順

※保温付パイプは、パイプを傷付けない様に保温材を右の順序でめくってから以下のプッシュロックII、プッシュマスター各々の接続手順を行ってください。



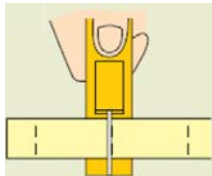
パイプを保温材ごと切断する



保温材をめくる。めくり難い場合は保温材融着部より手で割いて下さい

プッシュロックII

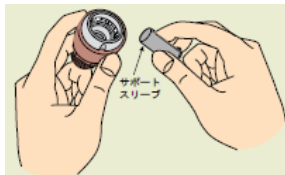
- 1** パイプはカットマーク位置で直角に切断する。
※専用カッターを回しながら切ると簡単です。



- 5** 差込代（端部から最初のカットマーク）に油性マジックで半周以上マーキングする。



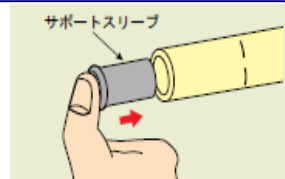
- 2** 継手の中にセットされているサポートスリーブを取り出す。



- 6** 継手内の部品に異物付着など異常がないか、又パイプに傷がないか確認する。



- 3** 取り出したサポートスリーブをパイプ端部に挿入する。



- 7** 差込代マーキング部までまっすぐ確実に差し込む。



- 4** サポートスリーブ挿入確認のマーキングをする。

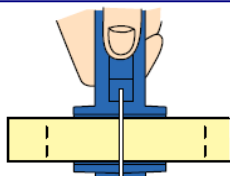


- 8** 差込代マーキング部までの差し込みを確認する。



プッシュマスター

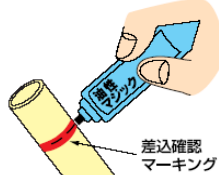
- 1** パイプはカットマーク位置で直角に切断する。



- 4** 差込代マーキング部までまっすぐ確実に差し込む。



- 2** 差込代（端部から最初のカットマーク）に油性マジックで半周以上マーキングをする。



- 5** パイプ先端部が継手から見えることを確認する。手でパイプを引張りパイプの抜け出しが無い事を確認する。



- 3** 継手内の部品に異物付着など異常が無い、又パイプ内面に傷がないか確認する。



漏水事故防止及び安全に使用して頂くため、裏面記載の「施工及び保管上の注意事項」を遵守願います。

プッシュロックⅡ / プッシュマスター

施工及び保管上の注意事項



この絵表示は、必ず実行して頂く「強制」の内容です



この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です



この絵表示は「注意喚起」の内容です

パイプにゴミや汚れがついている場合にはウエス等でふきとるか、交換して下さい。

直接日光の当たる所に保管や配管しないで下さい。劣化の原因になります。

水道水及び弊社が使用を認めた流体以外には使用しないで下さい。

パイプの端部から50mm程度は製造時に発生する扁平が大きいためカットしてご使用下さい。(十分な余長があります)

接続部よりすぐにパイプを曲げて配管しないで下さい。

決められた温度・圧力の範囲内で使用して下さい。95℃を超える可能性のある配管システムには使用しないで下さい。

●使用温度及び最高使用圧力	5-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-95
使用温度(℃)	5-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-95
最高使用圧力(MPa)	呼び値10,13,16,20	1.42	1.30	1.20	1.00	0.86	0.70	0.50
	呼び値25	1.00	0.90	0.80	0.70	0.60	0.50	0.30

パイプに傷のある場合は新しいパイプと交換して下さい。

パイプ、樹脂継手に直に軟質塩ビなど可塑性を含んだ材料やオイルを添加したゴム類(支持部材など)を接触させないで下さい。可塑性やオイルの移行により製品が劣化する危険性があります。

旧式のガス給湯器においては、極稀に流量センサーの誤作動等により異常高温状態となり、パイプバーストが発生する場合があります。特に給湯システムのリフォームで本システムを使用する場合は、事前に給湯器メーカーに確認をお願いします。

循環方式でご使用の場合は70℃以下でご使用下さい。(太陽熱温水器など70℃以上で循環するシステムには使用しないで下さい。)

パイプ及び継手・ヘッダーには直接粘着テープを巻かないで下さい。製品が劣化する危険性があります。

防蟻剤、防腐剤、灯油などが直接付着しない様にご注意下さい。また、継手の樹脂部品は金属塩化物や強酸性の液体に対して侵される性質があります。銅管ロウ付けに使用するフラックスや酸性洗剤などの付着には特にご注意下さい。

キックが発生しやすい配管は避け、キックが発生した場合は新しいパイプと交換して下さい。

エコキュート等のヒートポンプと貯湯タンク間の1次配管には使用しないで下さい。

柔らかい材質なので運搬中、施工中の傷の発生に注意して下さい。

【使用環境に関する注意事項】

- 凍結防止には別途必要な処置を施して下さい。
- 屋外での使用に際しては別途保護を行なって下さい。
- パイプを土中に埋設する場合は、サヤ管等で必ず保護して下さい。
- パイプは投光器近傍など高温になる所では使用しないで下さい。
- 「給水・給湯」、「空調」その他弊社が使用を認めた配管用途以外には使用しないで下さい。
- ポリブテンパイプは可燃性ですので火気を近づけないで下さい。又、高温にも注意して下さい。
- 専用潤滑剤以外の潤滑剤や洗剤などは使用しないで下さい。
- 温泉用途に使用した場合は、通常の給水・給湯用途に比べて劣化が早まる可能性があります。点検の際には、配管の状態も確認いただき、変色、腐食の恐れがある場合、適宜交換をお願いします。

【配管、接続作業上の注意事項】

- パイプへの釘打ち、ツブレ等に十分ご注意ください。
- パイプの熱伸縮を考慮して配管して下さい(弊社発行の技術資料を参照下さい)
- パイプの切断は専用カッターを使用して下さい。
- パイプ端部の面取り加工や先端が斜めカットとなったパイプの削り補修はしないで下さい。
- パイプ切断時はためらい傷に注意して下さい。切断を途中で止めずに最後まで切断して下さい。
- パイプの最小曲げ半径を確保して配管して下さい。
曲げ半径が小さくなる箇所ではコネクターエルボ等を利用してパイプの曲がりを緩和させて下さい。
特に給湯器下配管については、コネクターエルボを必ずご使用下さい。
- パイプ端部から50mm程度は製造時に生じる扁平が大きいため、カットして御使用下さい(十分な予長があります)。
- 接続後は水圧試験を行い、漏水など異常がないことを確認して下さい。
- その他、プッシュロックの施工要領書やカタログ記載の注意事項に従って使用して下さい。

その他の注意